

てんごくのおとうさんへ

群馬県
高崎市立六郷小学校一年

坂本 岳央

おとうさん、てんごくも、まいにち、あついですか。ぼくは、あつさにまけず、あさはやくおきて、ラジオたいそうにいったり、がっこうのプールへいって、おもいつきりおよいだりして、げんきにすごしています。

おとうさんは、ぼくが、がっこうを、いやがらずに、ちゃんといけるかどうか、しんばいしていたけど、がっこうは、すごく、たのしいです。たんにんのゆうみせんせいは、やさしいし、なかのいい、おともだちも、たくさんできました。

さいしょ、ぼくは、きのうまで、あんなにげんきだった、おとうさんが、とつぜんしんでしまった、ということが、よくわかりませんでした。いつか、きつと、ぼくたちのところへ、かえってきてくれると、おもっていました。

ところが、なんにち、まっても、おとうさんが、かえってきてくれないので、ぼくは、おかあさんに「おとうさん、ほんとうにしんじやったの。」と、きいてみました。

「おとうさんは、しんだんじやなくて、うちゅうへいって、ちきゅうのみんなをまいにち、それからみまもつてくれているんだよ。」と、おかあさんは、こたえました。

それから、ぼくは、いちにちに、なんかいいも、そらを見るようになりました。がっこうで、おともだちとけんかしてこまったとき、じょうずに、えがかけなくて、なきそうになつたとき、おとうさんのことをかながえているうちに、し

ぜんとゆうきがわいてきました。（おとうさんは、なんて、すごいだろう。きつと、ぼくたちのかみさまになつたんだ。）と、そのときぼくは、おもいました。

おとうさんは、ぼくがわからないことがあると、ぼくがほんとうに、わかるまで、とことんおしえてくれました。げすいどうのしくみや、ちずのみかたなど、パソコンでくわしくしらべ、ずにかいたりして、ていねいにおしえてくれましたね。おかげで、いつのまにか、ぼくも、パソコンをそうさできるようになりました。しょうぎやオセロ、でんしゃのしゆるいやしくみなど、おとうさんにおしえてもらったことは、かぞえきれません。とくに、ペットボトルで、ロケットをつくりかんのんやまへつれていつてくれたときは、いまでもよくおぼえています。そこでおしえてもらった、ぎゅうにゅうパックのプーメランは、ぼくとおとうさんのおもいがかつまった、だいじなたからものになりました。

このあいだ、じょうききかんしゃのきてきがきこえてきたとき、ぼくはおとうさんとデゴイチにのつて、みなかみへいったときのことをおもいだしました。ロープウェイとゴンドラにのり、てっぺんまでいきましたね。

ぼくは、おとうさんのおもいでをこれからもずっとたいせつにしていきたいです。